

「知る」「魅力を発掘・発見・発信」「町づくりプランを立て提案」

3年間の系統的な学習の取組



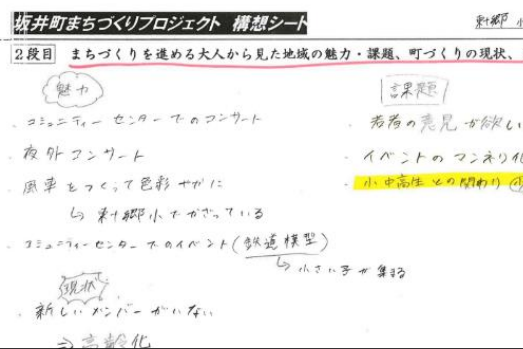
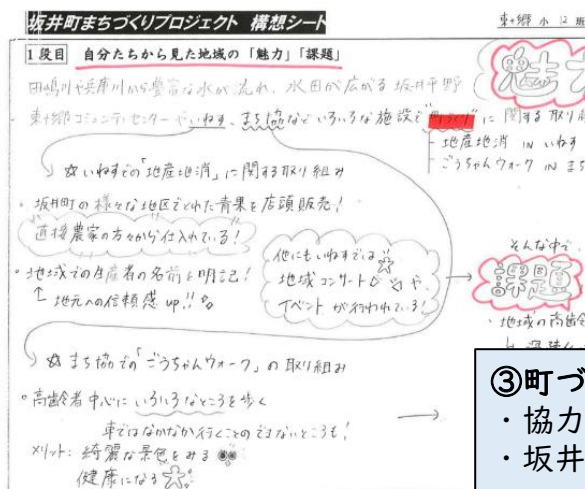
①課題把握

- ・まちづくり協議会による地域の現状、取組、課題についての講話



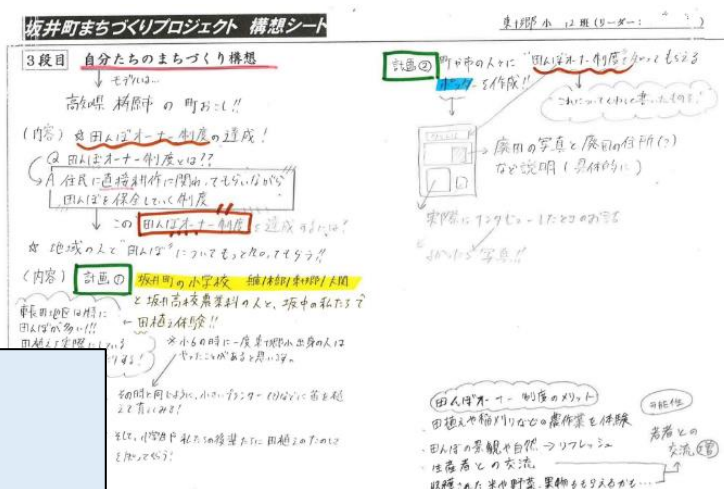
②課題解決を踏まえた町づくりプラン構想

- ・外部講師による課題発見ワークショップ
- ・プレゼンテーション資料作成



③町づくりプラン提案

- ・協力者に向けたプレゼンテーション
- ・坂井市長へ提案



「ふるさとの学び特別賞」 推薦書

学校名	坂井市立坂井中学校	校長名	林田 俊治
-----	-----------	-----	-------

1. 推薦理由			
本校では、総合的な学習の時間において、3年間を通じて、ふるさと学習に取り組んでいる。地元坂井町について、1学年では「知る」、2学年では「魅力を発掘・発見・発信する」、3学年では「町づくりプランを立て提案する」をテーマに、坂井市市民協働課、コミュニティセンター、まちづくり協議会等の協力を得て活動を行い、ふるさとへの愛着と誇りをもって生きる生徒の育成を目指している。			
2. 活動内容 テーマ「坂井町まちづくりプロジェクト」			
対象 3学年 生徒数 133名 2学年では、坂井町に移住された方の講話や、坂井町内のフィールドワークを通して、坂井町の魅力を発見した。今年度は、様々な魅力がある一方で、解決が望まれている課題について知り、よりよい町づくりへのプランを構想し、市長への提案を行う。 まず、生徒は、町内4つの地区の中から自分が住んでいる地区について魅力と課題を考え、その上で、各まちづくり協議会の方から講話を聞いた。講話では、地域の大人から見た地域の現状や、現在取り組まれている町づくりの取り組み、解決を望まれている困りごとや課題について聞き、その内容を踏まえてさらに課題を整理した。 続いて、各地区の現状や課題解決を踏まえた町づくりプランを構想した。現在、生徒は次のような提案を構想している。坂井町の水田を活かして、若者が参加しやすい活動として「田んぼアート」の提案、小中高連携した体験活動を取り入れた「田んぼオーナー制度」の提案、若者が集まる場所として丸岡駅の活性化を図る提案、すでにあるカフェやキッチンカーの集客のための新しいメニューや宣伝方法などの具体的提案、地域活動が充実している木部地区の行事の見直しや公園整備の提案などである。 12月以降は、生徒からの町づくりプランについて、市民協働課およびアルマス・バイオコスモス研究所水上聡子氏より助言いただき、より実効性のあるプランを作成する。続いて、作成した町づくりプランを市民協働課、社会福祉協議会等の協力者の方々にプレゼンテーションし、アドバイスを受ける。また、小学校6年生対象にも町づくりプランのプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションを通して、好評であった町づくりプランを各地区から選考し、2月末に坂井市長に提案をする予定である。			
3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）			
10月	水上聡子氏より、坂井市のオリジナル教材である課題発見ワークショップ「ミステリー」を受け、地域の魅力・課題を整理する。		
11月	坂井町内4地区のまちづくり協議会より、地域の現状、町づくりの取り組み、課題について講話を聴き、地域の魅力・課題をもとに町づくりプランを構想する。		
12月	各班の町づくりプランについて、水上氏よりアドバイスを受け、具体的な町づくりアイデアを考える。		
1月	町づくりプラン、アイデアのプレゼンテーション資料を作成する。		
2月	町づくりプランのプレゼンテーションを行い、各地区の町づくりプランを選考し、坂井市長に提案する。		